

富士市立高等学校 学校運営協議会		第2回	会議要旨 (平成25年度)
開催日 平成25年9月27日 金曜日 開会 13時00分 閉会 15時40分	会議場 富士市立高等学校 新錬成館 2階 セミナー室		
出席委員 上柳 正仁      櫻井 正人      塩田 真吾      柴田 怜奈 杉山 荘一      中川 加代子      畑 隆      吉村 孝夫 渡邊 利夫      齋藤 照安      小野 政幸      金親 徳行 植野 秀樹			
探究学習及び1年探究学習発表会について（説明） <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間を利用し、3年間を通して以下の5つの単元に分けて学習を進めている。</li> <li>・1年前期「序」では、課題を見つけ、情報を集め、表現するための基本的な方法を身に付ける。</li> <li>・1年後期「論」では、ディベートを通して多角的な物事の見方、論理的な考え方を学ぶ。</li> <li>・2年前期「活」では、富士市の抱える課題に取り組み、地域の一員としての意識を高める。</li> <li>・2年後期「究」では、個人でテーマを設定しそれについて探究する。</li> <li>・3年では、探究学習の仕上げとして自分自身の人生プランを具体的に考える。</li> <li>・本日は、1年前期「序」のまとめとなる発表会を参観してもらう。</li> <li>・この発表会は、3年間の探究学習の基本となる発想法（ブレインストーミング、KJ法など）を身につけ、それを活用してまとめたもの。</li> <li>・クラスでクラステーマを決定し、クラステーマに関連したグループテーマ、個人テーマを設定しそのことについて学習を進めた。</li> <li>・この探究学習を柱にして夏季休業中の集中研修や2年次の海外探究研修旅行、その他のキャリア教育などに関連付けている。</li> </ul>			
1年探究学習発表会参観 <ul style="list-style-type: none"> <li>・8教室に分かれて参観。</li> <li>・前半の50分（3～4グループ）発表を見る。</li> </ul>			

<p>新錬成館見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業中に完成した生活館（錬成館）の見学。</li> <li>・宿泊室、浴室、食堂などを見学。</li> </ul>	
<p>協議開会</p>	
<p>会長挨拶（畑会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育機関に身を置く者として、新錬成館はうらやましく思う。</li> <li>・このような素晴らしい環境で生徒も幸せだと思ふ。</li> <li>・今年度、富士市立高校が発足し3年目で3学年生徒が揃い、現3年次生は進路を決定する時期となった。</li> <li>・この運営協議会で話し合うキャリア教育についても更に意味を持つだろう。</li> <li>・このように生徒に関わりを持つ重要な内容を協議するので、活発な意見をお願いします。</li> </ul>	
<p>夏季集中研修について説明（学校より）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月19日の週を中心に各学年・各学科で集中研修を行った。</li> <li>・この集中研修は授業1単位として認定するものである。</li> <li>・1年総合探究科は神奈川大学で理科実験を行い、また東京で企業研修をした。1年ビジネス探究科は、東京においてJAL、日本銀行、会計監査法人などの研修や明治大学の見学などを行った。スポーツ探究科は、スキー実習を冬に行う関係で、夏は1日だけカーリング実習に山中湖方面に行った。</li> <li>・2年は海外探究研修（海外修学旅行）の事前研修を中心に学習した。総合探究科はハーバード大学の学生8名が来日し、本校に3日間滞在し英語キャンプを行った。ビジネス探究科は台湾に訪問するので、中国語の講座や企業の研究などを行った。スポーツ探究科は、海外探究研修の事前学習ではないが、山中湖において野外実習を行った。</li> <li>・3年総合探究科は、各自の進路に向けての学習を、ビジネス探究科は、商工会議所青年部にお世話になり「ジョブ博」のスタッフとして実際に働くという形で体験学習を行った。スポーツ探究科は、富士登山を行った。</li> <li>・2年総合探究科のハーバード大学学生との英語キャンプの様子をまとめたスライドを流す。</li> <li>・10月23日全校で「探究学習発表会」予定している。</li> </ul>	
<p>議事の概要</p>	
<p>(感想)</p>	<p>○1年探究学習発表会を参観しての感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ方は上手だと感じた。</li> <li>・「企業で実際に働いてもらう場合」という視点で考えると、声が小さい、始めと終わりのお辞儀が甘いというような点については気になっ</li> </ul>

	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表用に使うというのであれば、字の大きさや用紙のサイズが小さいと感じた。</li> <li>・積極性のある生徒、ない生徒がいる中で、生徒同士が討議する時間がこの発表会までにたくさんあったのであれば、すごく良いことだと思う。</li> <li>・素晴らしい発表を見せてもらった。</li> <li>・よく学習して準備していたのだと思う。</li> <li>・この学習を通して見つけた「なぜ？」を継続して研究する姿勢を持って欲しい、と感想を求められ生徒に向けて話をさせてもらった。</li> <li>・小学校の生活科から中学の総合的な学習の時間と生徒は継続して学習をしているということであるが、有機的に繋がっているか。小中学校で学習されたことが基本となってスムーズに高校で行われているのかお聞かせ願いたい。</li> </ul>
(回答)	<p>→全てがスムーズだったかというところではないと思う。</p> <p>→小中学校ごとで経験している内容に大きな違いがあり、それは総合的な学習の時間の内容が学校や地域の実情に応じて工夫ができるためであると考えます。</p> <p>→そのため系統的な繋がりは求められない。</p> <p>→ブレインストーミングなどの手法は、身に付けている生徒も多い。</p> <p>→生活科や総合的な学習の時間を経験していない年代の生徒よりもグループ学習がスムーズに始められるのは確かである。</p> <p>→男女同じグループでも活発に討議ができるのは小中学校での総合的な学習の時間等での素地があるからであると考えます。</p>
(感想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校から送りだして半年でこんなにも成長した姿を見て感心した。</li> <li>・教え子が中学の時とは全く違い、ハキハキと発表していたということは、高校での指導がきちんとなされているのだと思った。</li> <li>・中学の指導者という立場からの視点であるが、語彙の多さや用語を理解し深く利用するなど表現力の素晴らしさに驚いた。</li> <li>・お辞儀などの発表態度の部分についてはこれからこの探究学習を通して身に付けていって欲しい。落ち着いた態度も良かった。</li> <li>・せっかくの発表なのだから声を大きく、原稿に頼らず堂々と発表して欲しかったが、それも2年、3年でできるようになって欲しい。</li> <li>・将来、富士市を担う人材になってもらいたいということであれば、もう少し地域に密着したテーマを設定しても良かった。</li> <li>・資料は大きい方が、説得力が増して良いと感じた。</li> <li>・教員が授業前に服装を正す指導をされており、感心した。</li> </ul>

- ・様々なテーマが設定され、調べたことを発表していたが、「調べてこういうことがまだ分からないので実際に見てみたい。」などそこまでの発表があっても良かったと思う。
- ・女子生徒は話の口調に区切りがない者が多かった。発表は、聞いている者に発表したい内容が正確に伝えられることができ発表したということになるので、その辺を意識して欲しかった。
- ・発表を参観し、良い経験をさせてもらった。
- ・生徒の発表を見ることは、初めての経験で感動した。
- ・堂々と発表しているなというのが第一印象である。
- ・自分の意見を言えるようになるには、このような学習や体験が必要だと感じた。
- ・探究学習だけではなく、様々な場面で生徒が自分の意見を発言できるように、そのような仕組みを学校として設けて欲しい。
- ・とても楽しく発表を聞かせてもらうことができた。
- ・世界の食、ジャニーズ、宇宙から恋愛までテーマもそれぞれで高校生らしい意見がたくさん出ていたと思う。
- ・少人数を想定したディスカッション用の用紙ということだったが、目的に応じた資料の準備は必要だったと思う。
- ・タイマーを背にして発表していたが、時間が決められているのであればタイマーは発表者が常に確認できる場所に置くべきだと思う。
- ・話す側と聞く側は一体であり、聞く側の心構えについても指導が必要。肘を机につきながら聞くことは、話す側からすると話しにくいと思う。
- ・聞くこと、書くことは別々にした方が良かった。
- ・読み方や話す技術、聞く技術は習わないと身につかないので、発表をさせるのであれば習わせるべきだと思う。
- ・気さくさや大らかさが良い面に出ると良いと感じた。
- ・探究学習とはこのようなことなのだということが実際に参観させてもらって理解できた。
- ・3年になるとどのくらい成長しているのか興味を持ったので、3年の発表も見たかった。
- ・初年度に比べて少しこなれてきたと印象を持った。
- ・ユニークなテーマで一生懸命探究活動していた。
- ・この発表会で探究学習が終わりではなく、あと2年続いていくので、委員の方から出された意見を生徒たちにフィードバックして3年後のよりよい姿を見られることを期待している。
- ・各委員の意見あるように「〇〇を調べました。」で終わってしまっ

(校内委員から)

<p>(副会長より)</p>	<p>いる者と「〇〇を調べてこのようなことが分かり、今後は〇〇を調べてみたい。」と発表できた者の差を解消できればと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年までどのように育てれば良いのかを考えさせられた。</li> <li>・ 各委員の方よりご意見が出た発表する態度や聞く態度の養成をしなくてはならないと感じた。</li> <li>・ 大変貴重な意見をいただいたので、今後に活かしたい。</li> <li>・ 1年の探究学習については3年目となるので、先生方の指導もだいぶ慣れてきている。1年目に比べると良くなっていた。</li> <li>・ 先生の中には今年初めて探究学習の指導をしている者もいるが、探究学習をまとめている先生がノウハウを蓄積しているようで、安定した指導ができるようになってきている。今後も年数を重ねていく中で、本校の探究学習の形が更にしっかりすると確信した。</li> <li>・ 参観中にコメントを求められ、「楽しく、笑顔で、声を大き出して丁寧に発表をしないと伝わらない。」という話をさせてもらった。</li> <li>・ この探究学習は発表がメインではない。テーマについて自分の考えをどの程度深くまでまとめられるのかが一番大切にしていること。</li> <li>・ 社会に出たときに自分で考えて行動できるかが大事なので、どこまで教員が黙っているか、どのような時に教員が支援するのか見極めが課題だと思う。</li> <li>・ まだまだ手探りの状態だが自分で考えて自分で動ける、他人に対しても思いやりを持って接することができる人間をこの探究学習で育てていければと考えている。</li> <li>・ 私がずっと考えていたことを委員の皆さんが意見として言ってくれた。</li> <li>・ 一步一步厳しさを持ちながら取り組んでいきたい。</li> <li>・ 探究学習をやっているから各教科の学力が下がったと言われぬように、探究学習を通して自ら学習する姿勢を身に付けさせたいと考えている。</li> </ul>
<p>(会長より)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日の委員の皆さんの意見は、大変参考になった。感謝している。</li> <li>・ 校長先生の話の伺い、理解が一段と深まった。</li> <li>・ 原稿を見ながらの発表だったが良く話すことができていたなという印象を持った。</li> <li>・ 全員が発表したことに意義があった。</li> <li>・ 自分の興味、関心を抱いたことを調べて発表するという方法に意味があるように感じた。与えられたテーマではなく、自分が興味を持ったものだったので形骸化していなかったように思う。</li> <li>・ 高校生の発想には感心することも多かった。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表後、非常にさわやかな気持ちになり、良い発表だった。</li> <li>・中には、地元についての発表もあった。特に富士のお茶についての発表は私自身参考になった。</li> <li>・今回の委員の皆さんの意見、感想を参考にして、今後活かして欲しい。</li> </ul>
<p>(説明)</p> <p>(質問・意見等)</p>	<p>○キャリア教育について 塩田委員より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的にキャリア教育とは「職業観、勤労観を育てる教育。」と言われている。</li> <li>・キャリア教育で身に付けさせたい力とは、「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」である。</li> <li>・市立高校の探究学習は、キャリア教育で身に付けさせたい能力を養成できる内容である。</li> <li>・静岡大学教育学部では市立高校と2011年から連携している。</li> <li>・静岡大学教育学部の学生がコーディネーターを務め、読売新聞社と「記事を書こう」を実施した。</li> <li>・年1度高大連携事業として総合探究科1年が静岡キャンパスで教育学部の模擬授業などを体験している。</li> <li>・市立高校の全校生徒対象にキャリア意識の調査を実施した。</li> <li>・調査結果を見ると、ほとんどの項目で学年が進行するごとに数値が良くなっている。</li> <li>・海外探究学習を含めた一連の探究学習が生徒たちのキャリア能力を高める上で有効だったと言える。</li> <li>・「課題対応能力」については、1年と3年の間ではっきりとした差が現れなかったため、それがこれからの課題なのかもしれない。</li> </ul> <p>○キャリア教育について意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育についてもう一度考えないといけないと思った。</li> <li>・商工会議所青年部の小学生に対して行っている職業観教育を行う事業で市立高校のビジネス探究科3年に小学生に教える立場として体験してもらった。この体験で生徒たちが役に立てたという感覚を持つことができたことが大きかった。</li> <li>・体験を通して、市立高校の評判が上がったため、高校生を雇用したいという企業が増えた。</li> <li>・市立高校の取り組んでいることは、地域にとっても貢献しているの</li> </ul>

<p>(質問・意見等)</p>	<p>で、継続してもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度も小学生に対する職業観育成事業に協力をお願いしたい。</li> <li>・キャリア教育は職業に就くということだけではなく、生き方を学ぶことや自分の役割を自覚することなどを通して社会で貢献する自分の姿を想像することだと感じた。市立高校では、このことについてどのようにもっていくのか。探究学習を通して自分の活かし方をどのように学ばせるのが一番難しいことだと思う。</li> <li>・新高校になりまだ3年経過するところなので、これから期待できる。</li> </ul>
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひな保育園で2年次生全員に保育実習を引き受けた。</li> <li>・今年はあるクラスの実習が非難訓練と重なった。そこで生徒におんぶ紐で幼児を安全な場所に連れ出す訓練を一緒に行うことを提案した時、クラス全員が手を挙げた。</li> <li>・とても暑い時間帯であったが、生徒は一生懸命動いてくれた。</li> <li>・中にはまだ子どもをおぶっていたいという男子生徒もいた。「もっと保育実習を続けていたい。」という生徒もいた。このような体験型の保育実習は「生きた教育」ではないかと思う。</li> <li>・スポーツ探究科の生徒もおんぶの体験をし、生徒たちはよく動いた。保育の体験は将来子を持つ親になる生徒にとって重要だと思う。この体験をしているのとしていないのとでは差が出てくるはず。</li> <li>・生徒に対して虐待についての話を全クラスでしたが、生徒はとても真剣に聞いてくれ、たくさんの感想を書いてくれた。</li> <li>・地域との繋がりということも考えるとこの保育実習は有意義である。また高齢者の方々との交流の機会もあると良い。</li> </ul>
<p>(会長より)</p>	<p>→予定時間が過ぎているので、今回はここで閉会としたい。キャリア教育については、次回以降も継続して話し合っていきたいと思う。本日の塩田委員からのキャリア教育についての話を参考にさせていただきたい。</p> <p>→ここで進行を事務局にお返りする。本日は、ありがとうございます。</p>
<p>今後の会議日程について（事務局より）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回は2月3日から6日の都合が合う日時に開催したい。</li> <li>・時間が許すのであれば部活動なども見学していただきたい。</li> </ul>	
<p>閉会</p>	